

「こころときめく贈り物」

～高校生にすすめる1冊の本～



愛知県教育委員会

高校生のみなさんへ

みなさんは、読書が好きですか？ 本を読んでいますか？

みなさんのまわりには、人生をととても豊かにしてくれる本がたくさんあります。学校や地域の図書館などでは、みなさんに読んでもらいたい本を紹介してくれる先生や司書の方がいて、みなさんが来てくれることを心待ちにしています。きっとよいアドバイスをくれるはずですよ。

さあ、今からみなさんにぜひ読んでもらいたい本を紹介していきますよ！

「LOVEあいちサポーターズ」の川島なお美さんと DJ MITSU(nobodyknows+)さんから高校生にぜひすすめたいという本を紹介します。

川島なお美さんから

「そ・わ・か」の法則 小林 正観／著

(サンマーク出版 2011.12)

大人になったらお金や仕事に困らず、健康にも人間関係にも恵まれた幸せな人生を送りたい、そう思いませんか？ そのためには日常のちょっとした3つのルールを守ればいいんですよ。

人生がより豊かに輝く、あなたの生涯のバイブルになる1冊です。



DJ MITSU (nobodyknows+)さんから

斜陽 太宰 治／著 (新潮社 1950.11)

貴族（いわゆるお金持ち）の子として生まれ、その生い立ちに苦悩、反発しながら薬物自殺（未遂）を繰り返し、人をだますように金を借り、酒に溺れ、行きずりの恋人と心中するも自分だけが生き残ってしまい、その運命を悲観しつつ、最後は妻子を残して愛人と入水自殺……。こんなデタラメな人間が、なぜこの倫理観の強い日本人にまだ愛されるのか？ 生前に残した太宰作品の多くには、人間なら誰しもが持つ「心の弱さ」を全て（実生活でも笑）吐き出しつつ、そこから見える、たった一筋の希望を誰よりも力強く、美しい言葉で描写しています。僕も20代の頃はその言葉に相当救われました。代表作といえば「人間失格」や「走れメロス」ですが、1冊目としては断然「斜陽」をおすすめします。





先生からみなさんへのおすすめ本8冊です。先生のメッセージと共に紹介するよ！

○ 神去なあなあ日常

三浦 しをん／著
徳間書店
2012.9



みなさんは、高校卒業後の進路を明確に決めていますか？

この本の主人公の勇氣は、進路決定ができないまま、高校を卒業しようとした都会の男の子です。高校の卒業式終了後、担任の先生から「お前の就職先を決めてきてやったぞ」と、いきなり三重県のト田舎「神去村」への片道切符を渡され、わけのわからないまま林業に勤しむこととなります。のんびりとした村の雰囲気と「なあなあ」な住民に囲まれ、成長していく主人公がだんだんたくましく見えてくる温かい作品です。豊かな自然描写も読みごたえあり！！

○ 風が強く吹いている

三浦 しをん／著
新潮社
2009.7



あなたは、「あの時、もっとああしていれば」と後悔をしたことがありますか？

私はこの本を読むうちに、自分の学生時代を後悔しました。話にのめり込むほどに、誰かに巻き込まれてでも、流れに乗ってでも、何かに一生懸命になっておけばよかったという思いが強くなりました。「風が強く吹いている」は、挫折を経験した主人公が先輩に巻き込まれて箱根駅伝出場を目指す物語です。あなたも巻き込まれたつもりで表紙を開いてみてください。この本を読み終わる頃には、きっと新しいことに挑戦したくなっているはずですよ。



○ 舟を編む

三浦 しをん／著
光文社
2011.9



辞書を作るために奮闘する主人公とその仲間のお話です。出版社に勤める主人公の辞書に対する熱き思いからは、自分の仕事に情熱を傾ける人の素晴らしさが伝わってきます。あなたは、主人公を通じて、物事に熱心に取り組む人の美しさと日本語の奥深さを感じることでしょう。あなたには熱き思いを寄せる何かはありますか？ 数千ページの辞書も、作る時は1ページからの歩み。小さな努力の積み重ねが大きなことを成し遂げる大切さを教えてくれます。また、一人ではできない大きな物事でも、みんなの力を集めて取り組めば達成できるというメッセージも込められています。

○ 夜と霧 新版

ヴィクトール・E・
フランクル／著
池田 香代子／訳
みすず書房
2002.11



強制収容所から奇跡的な生還を果たした精神科医の記録。現代の社会ではまずあり得ない記録となっています。過酷な環境の中では、心の支え、つまり生きる目的を持つことが生き残る唯一の道であると説いています。また、収容所の中でどれほど人間が醜くなるのか、どれほど美しくなれるのか。この本を読み自問自答をしますが、美しく振る舞い、生き残ることに、全くといいほど自信がありません。ただ、私はこの本を読んだからしばしば夕焼けを見て立ちすくむことがあります。迷わず高校生にすすめる1冊です。写真の付いている旧版もおすすめです。

どの本も本当におもしろそうだわ。
私も読んでみようかしら。



○ きみの友だち

重松 清／著
新潮社
2008.7



友だちとの関係が上手くいかなくて、悩んでいませんか。友だちの言動で傷ついたり、逆に傷つけたりした経験のある人もたくさんいることでしょう。クラスメートと一緒にいて足が不自由になった恵美ちゃんと、病弱な由香ちゃんは教室で孤立しています。ブンちゃんとモトくんとの関係も微妙、そのほか何人かの子どもたちが、相手の気持ちが理解できずに苦しんでいます。この本は、そんな子どもたちが成長していく過程を連作形式で描いています。最終章では、成長した子どもたちが過去を振り返り、心を通わせる場面が涙を誘います。友だちって、どういう存在なのかがわかる貴重な1冊です。

○ 竜馬がゆく

司馬 遼太郎／著
文春文庫
1998.9



主人公は、土佐藩の下級武士であるご存じ坂本龍馬。1853年のペリー来航をきっかけに、無名の下級武士が、当時としては犯罪行為にあたる脱藩をします。そして、新しい日本を模索しながら奔走する姿は、今を生きる自分とこれからの自分のあり方を考えるきっかけをつくってくれます。どれほどの多くの若者が1963年の初版以来この本と出会い、そして勇気をもらって社会へ飛び立っていったことでしょう。かくいう私もその一人です。龍馬が混沌とした幕末の時代をいかに生きたかを知ることは幕末の時代背景を理解する機会にもなります。長編ですが、すべてを読み終えたときあなたの心にはきっと火がつかます。高校生のうちにぜひ読んでほしい1冊です。

○ ルーズヴェルト・ゲーム

池井戸 潤／著
講談社
2014.3



野球好きなルーズヴェルト大統領が一番面白いと言った8対7のゲーム。これを題名に掲げ、一企業の復活と再生をかけて登場人物たちが大逆転劇を展開します。

人生は思い通りにはいかないことの方が多いですよね。挫折を経験しながらも、励まされ、自らを鼓舞して諦めずにピンチに立ち向かう。それぞれの人生の中で、一人一人がプライドを保ち、あきらめずに立ち向かうのです。これから社会へと出ていく高校生のみなさんにぜひその姿を見てほしいのです。

○ こころ

夏目 漱石／著
新潮社
1952.3



自分がひそかに愛する女性を、自分の無二の親友も恋していると知ったら、あなたはどうしますか？ 自分の利益にしがみついた結果、取り返しのつかない過ちを犯してしまったら、あなたはどう償いますか？ 恋愛と友情、裏切りと孤独、生きる苦悩を余すところなく伝える、永遠の名作です。明治時代の青年たちの生き方に、現代の高校生もきっと深く共感するところがあるはず。さあ、あなたも不滅の「漱石」ワールドへ！

愛知県図書館の司書からは、この1冊！



「社会を変える」を仕事にする 社会起業家という生き方

駒崎 弘樹／著（ちくま文庫 2011.11）



「自分は何がしたいのか。」大学在学中、ITベンチャーの経営者の肩書きを持ちながらも、自分が本当にやりたい仕事が見つからなくなった著者。自分を見つめ直した末に出した答えは…「日本社会の役に立ちたい。」

病児保育の問題に気づいた著者は、小さい子どもを持つ親が安心して働ける社会を作るため、NPO法人フローレンスを設立します。その活動をする中で様々な人々が病児保育やフローレンスの活動に関心を持ち、協力してくれるようになります。壁にぶち当たりながらも奮闘し、フローレンスの病児保育サービスは全国に拡大。著者は2007年、「世界を変える社会起業家100人」に選ばれます。

この本では著者の魅力的な生き方にも感銘を受けることと思いますが、一人一人が身近な社会問題に目を向けて生きていくことで、社会は変わっていくのだと気付かされます。これから社会と関わっていく高校生みなさんに、ぜひ読んでいただきたい1冊です。

この本では著者の魅力的な生き方にも感銘を受けることと思いますが、一人一人が身近な社会問題に目を向けて生きていくことで、社会は変わっていくのだと気付かされます。これから社会と関わっていく高校生みなさんに、ぜひ読んでいただきたい1冊です。



「高校生にすすめる1冊の本」は、平成26年6月に、愛知県内すべての国立・公立・私立高等学校・特別支援学校(高等部)・中等教育学校(後期課程)256校(全日制・定時制・通信制及び4校舎を含む)の図書館担当などの先生方にお願ひし、9月までに274人の先生方からの協力を得て、高校生みなさんにすすめたい本を紹介するものです。今回は、複数の先生方から推薦があった本と、LOVEあいちサポーターズの方々や愛知県図書館司書の方からのおすすめ本を紹介しています。

今後、高校生が友だちにすすめたい本や先生方からの他のおすすめ本を定期的に紹介していきます。「愛知県子どもの読書活動」専用ウェブページにも掲載していきますので、みなさんもぜひ見て、本を読んでくださいね。

専用ページ → <http://www.pref.aichi.jp/0000027044.html>



発行：平成26年12月

問い合わせ先：愛知県教育委員会生涯学習課 syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp

〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

☎052-954-6781 FAX052-954-6962